

1. 委嘱状交付

2. 産業文化局長より挨拶

3. 委員紹介

4. 会長・副会長の選出

大津谷美由紀委員が会長に選出

和田正次委員が副会長に選出

5. 議事

(1) (報告) 労働基本実態調査の結果について

【事務局より説明】

以下、質疑応答

【委員の質問や事務局の回答】

Q：男女の平均が全体になるかと思うが、そうっていないデータが見受けられる。

A：男女別の回答がなく、全体のみを回答している事業所もある。このような不完全なデータを外すと元々少ないデータがさらに少なくなってしまうので、いびつな結果となっている。

Q：労働相談室を利用したことがある割合が0.5%であるが、他市での利用率を把握しているか。

A：把握していない。

労働相談を利用しているのは9割程が個人、勤労者である。今回の調査で回答しているのは、総務や経営者であると考えられるため、少ない割合で出ていると考えられる。

【委員の意見】

・不完全なデータを全体に入れている旨の説明書きは必要である。

(2) (審議) 働きやすいまちづくりプラン (後期案) について

【事務局より説明】

以下、質疑応答

【委員の質問や事務局の回答】

Q：外国人労働者へ情報提供をするということだが、労働者が働きにくいと感じる背景として居住がないといったことなどの分析情報はないのか。

A：外国人労働者施策について基礎自治体（市）で独自に取り組める施策があまりなく、ほとんどが兵庫労働局からの制度の周知や相談先につなぐということが多い。市では確実に誘導するということが必要だと思っている。西宮市で独自にそういった統計はとれないのが現状である。

Q：働き口が見つかるまで居住支援をするといったことはないのか。

A：居住支援までは想定していない。

Q：大項目が4つあるが、漏れなどがないように対象者や施策で切り分けているのか。

1つ目は求職者、2つ目は企業になるのか。

A：切れ目のない就労支援としているため、2つ目は企業だけでなく、働いている人、求職者も対象と考えており、完全に切り分けをすることは困難である。

【委員の意見】

- ・ワークライフバランス等、市民にも浸透しつつある用語がなくなり、漢字が多くイメージしづらくなった印象がある。
- ・今回の案では企業側の視点が抜けている印象がある。働きやすい環境を作るのは企業側であるため、企業側の視点を入れてもいいのではないか。
- ・市内企業の人材確保支援も必要と思われる。
- ・労働者も多様化しており、被雇用者以外のフリーランスといった視点も必要になる。
- ・後期案では簡素化し、一般市民に理解しやすいようにすることが必要と考える。
- ・今回の後期プランの5年以内には副業について解釈・理解が進むと思うので、後期プランに盛り込むかどうか検討してもらえればと思う。
- ・西宮らしさ、例えば子育て世帯の多く、大学が多いといった特色が反映されたものが入っていてもよいと思う。
- ・文字の羅列だけではなくビジュアル面でのグラフや図を用いれば見やすくなるのではと思う。
- ・概ねこの4つの大項目で施策としては整理されていると思われる。
- ・事務局案で進めていただくことにしたい。